

【評価】 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切 ※ 評価点はいずれも平均値
【集計】 自己評価 10名 外部評価 14名

1 教育方針

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------------|-----|
| ①学校の教育方針・経営目標・育成人材像は定められているか | 3.7 |
| ②学校の教育方針・経営目標・育成人材像が保護者等に周知されているか | 3.7 |
| ③社会のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3.3 |
| 【考察】ウクライナ問題の下でも教育方針は堅持している。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|------------|-----|---|
| 教育方針に関する評価 | 3.6 | ウクライナ問題、コロナ禍の中、教育方針を堅持していること、教職員関係の皆様にご敬意を表します。 |

2 学校経営

| 評価項目 | 評価 |
|---------------------------------------|-----|
| ①経営目標に沿った重点事項が明確にされているか | 3.7 |
| ②経営目標に沿った事業計画が立案されているか | 3.6 |
| ③運営組織や意思決定機能は、規程等において明確化され、有効に機能しているか | 3.4 |
| ④教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4.0 |
| ⑤PC等による業務の効率化が図られているか | 3.4 |
| 【考察】議論は活発に行っている。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|------------|-----|-------|
| 学校経営に関する評価 | 3.6 | |

3 教育活動

| 評価項目 | 評価 |
|---|-----|
| ①教育方針等に沿った教育課程の編成・実施方針などが明確にされているか | 3.6 |
| ②教育方針、育成人材像を踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 3.6 |
| ③学科のカリキュラムは体系的に編成されているか | 3.6 |
| ④授業評価の実施・評価体制はあるか | 3.7 |
| ⑤成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 3.8 |
| ⑥教員の指導力向上のための研修等が行われているか | 2.9 |
| 【考察】教員の指導力向上についてはロシア語教育の性格上、一般的な方法論はない。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|------------|-----|--|
| 教育活動に関する評価 | 3.7 | 日本で唯一のロシア連邦大学の日本校として、ネイティブスピーカーを中心とした特色ある教育活動を行っている。 |

4 学修成果

| 評価項目 | 評価 |
|---------------------------------|-----|
| ①就職率の向上が図られているか | 3.6 |
| ②退学率の低減が図られているか | 3.7 |
| ③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3.4 |
| 【考察】退学率の低減については募集時からその布石を打っている。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|------------|-----|--|
| 学修成果に関する評価 | 3.5 | 社会人による就職研修、卒業生による語学資格取得紹介など、就職率向上に向けた実際的な成果研修が行われています。・低減策がわからないため、(評価)2としました。 |

5 学生支援

| 評価項目 | 評価 |
|--------------------------|-----|
| ①進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 3.7 |
| ②学生相談に関する体制は整備されているか | 3.9 |
| ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3.8 |
| ④学生の生活環境への支援は行われているか | 3.8 |
| ⑤保護者と適切に連携しているか | 3.8 |
| ⑥卒業生への支援体制はあるか | 3.3 |
| 【考察】少人数クラスの特性を生かして行っている。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|------------|-----|--|
| 学生支援に関する評価 | 3.5 | 困難な社会情勢下、留学体制確立や支援など、対応できることをきちんとされていると評価できます。・コロナ禍の影響を受けた学生をサポートするため、日本学生支援機構の助成金を活用し、昼食代の支援を行うなど、学生支援に努めている。 |

6 教育環境

| 評価項目 | 評価 |
|---|-----|
| ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3.1 |
| ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な指導体制を整備しているか | 3.5 |
| ③防災に対する体制は整備されているか | 3.7 |
| 【考察】可能な限りの設備対策を行っている。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|------------|-----|----------------------------|
| 教育環境に関する評価 | 3.2 | ・特に海外研修を継続されたことは特筆すべきことです。 |

7 学生の受入・募集

| 評価項目 | 評価 |
|------------------------------|-----|
| ①学生募集は適正に行われているか | 3.9 |
| ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3.9 |
| ③学費・納付金は妥当なものとなっているか | 3.8 |
| 【考察】ネットを通じて積極的に行っている。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|----------------|-----|--|
| 学生の受入・募集に関する評価 | 3.6 | ・今年度からインターネット出願に対応するなど、受験者の利便性向上に向けて取り組んでいる。 |

8 財務

| 評価項目 | 評価 |
|------------------------------|-----|
| ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 2.6 |
| ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか | 3.6 |
| ③財務について会計監査が適正に行われているか | 3.7 |
| ④財務情報公開の体制整備はできているか | 3.9 |
| 【考察】ウクライナ問題による学生数の減少に苦しんでいる。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|----------|-----|---|
| 財務に関する評価 | 3.1 | ・会計処理はきちんとされていると思いますが、入学者数の不足から財政基盤は厳しいです(適正にリスクは認識されていますが)。・外部的要因などにより学生数が定員を下回る状況が続いており、函館市から運営支援補助金が交付されている。学生の確保に向け、インターネット出願に対応するなど環境を整える工夫を行っていると思うが、引き続き積極的な学生募集活動に努めるなど、経営努力を進めていただきたい。 |

9 法令等の遵守

| 評価項目 | 評価 |
|--------------------------------|-----|
| ①法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 3.9 |
| ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 3.8 |
| ③自己評価を実施し、問題点の改善を行っているか | 3.7 |
| ④自己評価結果を公開しているか | 4.0 |
| 【考察】法令に従って必要な対策を取っている。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|--------------|-----|-------|
| 法令等の遵守に関する評価 | 3.8 | |

10 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 評価 |
|--|-----|
| ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3.7 |
| ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3.2 |
| ③地域に対する公開講座・研修・他教育機関における指導を積極的に実施しているか | 3.9 |
| 【考察】市民への授業を中心に社会貢献を行っている。 | |

【関係者評価】

| 評価項目 | 評価 | 【ご意見】 |
|-----------------|-----|---|
| 社会貢献・地域貢献に関する評価 | 3.5 | ・市民への授業など地域貢献され、また農業体験を通じ学生の生活体験の向上に努めておられます。・一般市民を対象としたロシア語・ロシア文化の講座を開講や、多数の市民がロシアを身近に知ることができる機会となっている「はこだてロシアまつり」を開催するほか、市内の高等教育機関への講師派遣など、市民の国際理解推進に大きく寄与している。 |